

1. 会員情報

氏 名：宮西 洋幸
会員番号：FE-0418
保有資格：FE Civil, TOEIC770 点,
技術士（総合技術監理部門、建設部門）,
一級土木施工管理技士
専門分野：土木工学



2. 受験動機

私は、親族内ではまれな理系で土木技術者であった祖父の影響もあってか、大学で土木工学を学び、社会に出てからこれまでの 24 年間、道路事業者のインハウスエンジニアとして、道路計画や道路建設、道路管理に携わってきました。この間、海外での留学や業務を希望してはいたものの、そのほとんどは日本国内での業務であり、経験の裏付けとして取得した資格も、国内のものに留まっていました。しかし近年、海外の業務に携わることとなり、特に米国で現地の技術者と仕事をするなかで、PE 資格を取得することの重要性を強く感じ、その第一歩として FE 試験にチャレンジすることとしました。

3. 受験申し込み

まずは自らを追い込むことが大事と考え、2018 年 11 月下旬に母校に卒業証明書、成績証明書の発行を依頼し、11 月中に入手したうえで、12 月上旬に願書を整えて JPEC に出願しました。その後、12 月中旬に JPEC からの審査結果が届き、NCEES への登録と、Reference Handbook、Practice Exam の購入までを終えました。

CBT 試験を申し込んだのは、年が明けた 2 月上旬です。約 3 カ月後の 4 月下旬、改元をはさんだ 10 連休の直前に、試験日をセットしました。

4. 勉強方法

CBT 試験は、ほぼすべてが選択問題なため、まずは腕試しといったような感覚で臨んだというのが正直なところです。先行して米国内で FE 試験をパスしていた同僚から経験談を聞き、出題内容に該当する Reference Handbook の記載箇所をいち早く見出すこと、355 分間という長い試験時間の中で、へこたれず最後まで集中して問題に答えきることを心にしたほか、Pearson VUE のサイトの CBT 試験デモで操作法を確認しつつイメージトレーニングしました。

購入した図書は、以下のとおりです。

① FE Reference Handbook (NCEES)

CBT 試験の際に、唯一参照できるのがこの図書のデータということで、迷わず NCEES のサイトから購入しました。熟読とまでは言えませんが、Mathematics や Ethics などの章のテクニカルタームを確認したほか、Civil 各分野の記述に関しては、学生時代に学んだことを思い起こしつつ、一部は懐かしさも感じながら目を通

しました。面倒だったのは、ヤード・ポンドの単位系です。これに関しては、現地に居住しないと感覚が身に付かないと割り切り、SI 単位に換算しつつ対応しようと決めました。

② FE Civil Practice Exam (NCEES)

こちらも Reference Handbook とあわせて、NCEES のサイトから購入しました。すべての問題を解いた訳ではありませんでしたが、出題の雰囲気をつかむことを心がけました。

5.テスト本番

4 月下旬のテストは、東京で受験しました。前泊して、試験当日、帝国ホテルのビル内にある Pearson Professional Center に入りました。他のテストを受験する模様の人が、受付で英語を話していたので、「これから英語なのか」と思っていたのですが、自分の番が来ると日本語で話しかけられ、拍子抜けしました。先の方は日本人ではなかったようです。顔写真の撮影やサインといった手続きを終え、ロッカーに荷物をすべて預けたあと、パスポートとロッカーの鍵だけを持ってテスト室前の監視ブースに移動し、注意事項の伝達を受けます。その後、手書き計算などのためのシートとペンを借り、指紋認証してから入室しました。一人ひとり仕切られたブースのシートに座り、監視員が PC をセットアップして、試験開始です。

試験中は、前後半ともに、時間をバランスよく使うことを心がけました。よくわからない、計算が面倒といった問題はチェックを付けて後回しとし、まずはそれぞれ最後まで問題にあたりました。私は関数電卓を持ち込みませんでした。CBT の画面上に呼び出す関数電卓で十分事足りました。途中の休憩時間は、軽く水分を補給するなどした 15 分ほどでした。休むよりも、早く試験を終わらせたいという気持ちが強かったです。途中、Transportation 分野の出題にたどり着いたときには、オアシスを見つけたような気分でした。

休憩時間が短かった分、早くテストが終わりましたが、とても肩が凝り、雑音防止のためのヘッドフォンで耳が痛く困りました。カフェで遅めの昼食を食べてから、ホテルに戻り、家内との合流後、麴町のおでん割烹で慰労会を兼ねて夕食。和みました。

6.合格通知

試験結果通知のメールは、試験から一週間後、10 連休中に届きました。恐る恐る NCEES にアクセスすると、「Passed」の文字が。無事合格でした。すぐに PE 試験の受験要領を読み込むとともに、参考書をオンラインで購入しました。

7.今後の方針

直近の PE 試験にチャレンジすべく、連休明けすぐに願書などを整え、JPEC に出願しました。今後うまく運べば、10 月の PE 試験を受験できる見通しです。

試験そのものの準備、対策は当然ですが、合格できたあとの PE 登録も大きな山場だと感じています。FE 合格後に入会させていただいた JSPE で今後得られる情報や、先輩の方々のつながりを通じて、これらを乗り越え、PE を名乗れる日を迎えたいと考えています。

以上